

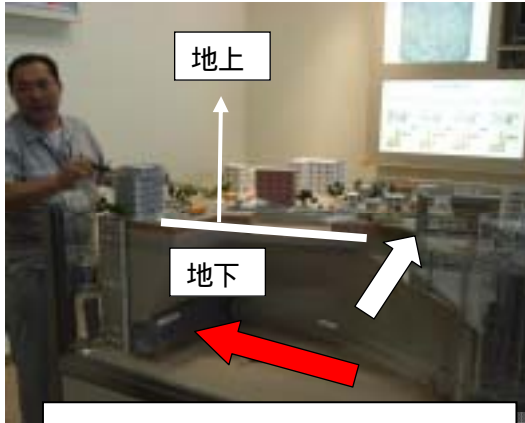


日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2008年6月20日号 No.54

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



白矢印から川の水を地下に落とし、環状7号線地下の巨大貯水池(赤矢印)に溜めます = 模型で説明を受けました

区議会「防災・安心安全まちづくり特別委員会」で善福寺川取水場を視察
環七の地下に、巨大な「調節池」(長さ4.5km 高さ12.5m)
神田川の水害対策に大きな役割が発揮されそうです

16日の防災・安心安全まちづくり特別委員会では、午前中の審議とシビック15階「防災センター」の新システムの見学、午後は杉並区の善福寺川取水施設「の視察を行いました。

神田川は集中豪雨のたびに氾濫したり、都市型災害としてマンホールから雨水が逆流するなどの被害に悩まされてきました。昨年3月、環状七号線の地下に川から溢れそうな水を一時的にため込む4.5kmの「巨大なトンネル」が完成し、これによって、時間50ミリの豪雨に耐えるしかげができました。東京都の職員に説明を聞いた後で、実際に地下40mでおりて、トンネル



全ではないという話を聞いて、都民の安全を守るために予算をまわさなくては、と痛感しました。ライトの跳ね返りです…

にたどり着きました。気温18℃、ひんやりします。サーチライトがないと真っ暗闇(左写真 なんだかわかりませぬ)。とてつもなく巨大です。工事期間20年と、費用は千億円！でもまだまだこれでも万

文京区の未来を創るネットワーク・お結びの会
「市民から出発する自治・分権」
 元・我孫子市長 福嶋氏の講演会

“市民の行政参加、” “協働協治、” …いろいろな言い回しで語られていますが、なかなか難しい問題です。38歳で我孫子市長になり3期務めた福嶋浩彦さんの話を聞く機会がありました。

実際に市長として腕をふるっていた人の話だけに、リアルでした。福嶋氏は無党派の方ですが、とくに県と国の言うことに従うな前例は見直す
 まわりの自治体に合わせるなど強調されたのが印象的でした。また、住民の意識向上とともに、議会としての住民への説明責任についても考えさせられました。「区民が主人公」の立場は、幅広い方々と一致できます。

- まんぞく日誌**
- 13日 朝、日刊赤旗の配達。昼、後期高齢者医療制度の廃止を「区内パレードに参加、汗びっしょり。午後は、「自治体行政システム調査特別委員会」の傍聴をしました。
 - 14日 茗台中学校の運動会に顔を出しました。絶好のお天気で、生徒たちの暑さ対策が気になりましたが、元気で。子どもの保育園時代の父母の方にも久しぶりに会えました。
 - 15日 礪川おやじの会の田植え(50人余が参加)、例年参加していましたが、今年は議会準備のため泣く泣く不参加でも夕方、新鮮なジャガイモをいただき、さつそく煮つころがしを調理。
 - 16日 今週は自分の所属委員会の審議とその準備です！